

「教師力」の向上を目指して

～教員の研修体系が大きく変わります～



教員の大量退職・大量採用の時代を迎えて、子どもたちを直接指導する教員の資質能力の向上が大変重要になっています。

昨年7月に設置した「『教師力』向上に関する検討委員会」から、去る平成18年11月20日に「求められる京都府の教員像」「具体的な人材育成方策」について提言をいただきました。

京都府教育委員会では、この提言の内容を踏まえ、「教師力」の向上を目指して積極的に取り組んでいきます。

「求められる京都府の教員像」に関する提言(本文)

- 児童生徒に対する教育的愛情と、教職に対する使命感・情熱を持っていること。
- 豊かな感性を持ち、明朗かつ健康で、人間的魅力にあふれていること。
- 高い「授業力」を持ち、児童生徒に確かな学力をつけることができること。
- 社会的良識と自ら学ぶ意欲を持ち、児童生徒や保護者、職場の同僚、地域の人から信頼されること。
- 「ふるさと京都」への理解と愛情を深めるとともに、国際的な視点に立った教育を推進することができること。



「具体的な人材育成方策」に関する提言(ポイント)

- 【養成段階】 教員志願者の拡大と質的向上
- 【採用段階】 優秀な人材の確保
- 【研修段階】 教師力の向上

※詳しくは、<http://www.kyoto-be.ne.jp/kyoshoku> をご覧ください。

■主な取り組みの一部を紹介

提言を受けて

総合教育センターの機能充実

- 現行の研修体系を大幅に見直します。
- 学校などへの支援機能や研究機能を強化し、研修全般を一元的にコーディネートする機関に位置付けます。

校内研修の活性化

- 各学校が自ら人材を育成する仕組みを構築するための支援を充実します。
- 校内研修の活性化を図るために「校内研修ハンドブック」の作成を計画しています。

地元京都のパワーを活用

- 地元京都にある大学や企業などの知的・人的財産を活用した教員研修を実施します。
*教員の「授業力」の向上を図る。
*教育実践や学校運営の中核を担うモデルリーダーを育成する。

24時間電話相談開始!

トータルアドバイスセンター

～一人で悩まず、一緒に考えませんか～

学校に行きたい気持ちはあるのに学校に行けない、いじめられる。友達のこと悩んでいる…。みなさんからの相談を受けます。

また、保護者や教職員からの子どもの成長や発達、子育て、しつけなどの悩みや不安について、相談を受けます。

| | | |
|---------------|---|--------------------------|
| | 府総合教育センター内 (伏見区) | 府総合教育センター 北部研修所内(綾部市) |
| | ふれあい・すこやかテレフォン | |
| 電話 教育相談 | 毎日 TEL 075-612-3268 TEL 075-612-3301 | 毎日 TEL 0773-43-0390 |
| | 月～金〔祝日を除く〕 上記の電話でお申し込みください。 専門のカウンセラーが 直接会ってお話をうかがいます。 | |
| 来所・巡回 教育相談 | | |

小さな「いじめ」も見逃さない ～早期発見・早期対応体制の充実に向けて～

子どもが「いじめ」によって自ら命を絶つという痛ましい事件が全国で相次いでいるなか、教員が子どもたちの発する心のサインを敏感に受けとめ、小さな「いじめ」も見逃さず迅速・的確に指導できる対応能力の向上が喫緊の課題となっています。

京都府教育委員会では、生徒指導を担当する中堅教員を対象として相談と指導対応の技量を高める「カウンセリング・マインド養成研修」を教育局ごとの5会場で開催し、「校内教育相談体制の在り方」や「いじめを許さない学校風土づくり」など、課題解決のための具体的な手だてについ

での研修を実施しています。

また、臨床心理士を府総合教育センター及び同センター北部研修所に配置し、いじめ問題に直面している教員向けの相談体制を強化しています。



カウンセリング・マインド養成研修会「乙訓会場」

まなび教育推進プラン 及び 子どもいきいきサポート推進プラン

京都府教育委員会では、生涯にわたって学び続ける基盤を培うという観点に立って、基礎・基本を徹底して「確かな学力」の向上を図る取り組みや、「不登校総合対策」についてのアクションプランを策定するため、学識経験者、スクールカウンセラー、民間施設代表者、PTA関係者や小中高等学校の先生などに参加いただき、検討会議を重ね、この度「まなび教育推進プラン」及び「子どもいきいきサポート推進プラン」を取りまとめました。

まなび教育推進プラン

施策の基本方向

- ◆子どもたちに学習習慣を定着させ、自ら学ぶ力の育成を図る取り組みを推進します。
- ◆子どものための効果的な少人数教育を検証し、充実します。
- ◆民間との協働による教育活動の充実を図ります。



重点施策

- ◆子どもの多様な状況やニーズに応じ、学習習慣を定着させ、自ら学ぶ力の育成を図ります。
 - 土曜日などを有効に活用した取り組みを推進します。
 - 家庭との連携を一層強め、学習習慣の定着を図る取り組みを推進します。
- ◆子どもたち一人一人の学力の充実と向上を図るため、「子どものための京都式少人数教育」の更なる充実を図ります。
- ◆企業や学校外部の人材の協力を得て、教育活動を充実します。

子どもいきいきサポート推進プラン

施策の基本方向

- ◆不登校や不登校傾向にある子どもの状況に応じた施策を展開します。
- ◆子どもたち、保護者、教職員などが相談できる体制・機能の充実を図ります。
- ◆不登校の子どもが通う民間施設への支援の充実を図ります。
- ◆高等学校における柔軟な教育システムの構築に向けて研究します。



重点施策

- ◆子どもたちの状況に応じた学習を支援します。
 - 「相談室などにおける学習支援や相談活動」の充実を図ります。
 - 「学校と民間施設との協働」の促進を図ります。
 - 家庭学習への支援の強化を図ります。
- ◆「相談体制・機能」の充実を図ります。
- ◆高等学校の教育課程、学習内容や指導形態などを弾力化したシステムを全日制課程に導入することを検討します。

子どもたちの心に寄り添う 「心の居場所サポーター」



京都府教育委員会では、不登校や不登校傾向にある子どもたちの状況に応じた学習支援の充実を図っています。

特に、学校に登校できるけれども教室に入りにくい子どもに対して、身近に感じる大学(院)生や教員志望者の若い世代、教職経験者など地域の人材を「心の居場所サポーター」として、小学校28校、中学校20校に配置しています。

「心の居場所サポーター」は、不登校傾向の子どもに対して個別に相談や学習の活動を行い、一人一人の悩みや不安、ストレスの解消を図るなど、学校内における「心の居場所」を提供し、学校の先生たちと一体となって、懸命に伸びようとする子どもたちを支援しています。

きょういく きた みなみ

読書活動～すべての学習の土台に～

向日市立向陽小学校

読書活動を「すべての学習の土台」と位置づけ、「一人年間百冊読書」を合い言葉に、全学年で取り組んでいます。

毎月の読書冊数を掲示板にグラフで表示したり、図書委員会が放送や掲示物で新刊図書や推薦図書を紹介するなどの活動を行いました。また、PTAの図書ボランティアの皆さんも、学校での読書活動を支える役割を担い、朝や昼休みを利用した読み聞かせを続けています。

「みんなで読もう!1000万冊読書キャンペーン」に因んで企画された「家族ふれあい読書新聞」には、多数の力作が寄せられました。読書について家族で語り合ったり、楽しんで共同作業をされた様子が作品によく表れていました。

今後も、読書の楽しさやすばらしさを体験し、豊かな人間性や考える力、更には正しい日本語で表現する力を養っていきたいと思います。



「本のおびをつくろう」の作品を表彰

南丹教育局

南丹教育局では、読書の感動を絵や言葉で表現してその楽しさを広げる「本のおびをつくろう」作品を今年度初めて募集しました。

管内の小中学校50校から2783点という多数の応募があり、10月21日に開催した「声に出して読もうin京都-南丹大会」の会場で、作品を展示するとともに、特に優れた作品について表彰を行いました。

この優秀作品については、管内市町の庁舎や図書館などで展示を行い、広く府民の方々にご覧いただいています。

この取り組みをとおして、読書の感動や楽しさが大きく広がり、読書活動の気運が一層盛り上がってきています。

また、この気運を確かな学力の基盤である国語力の向上にもつなげていきたいと考えています。



安全ボランティアの取り組みをととした地域社会づくりに向けて

～「つづける」「つなげる」「ひろげる」の視点から～

ボランティア活動推進フォーラム 京都大会を開催



オープニングプレゼント

地域社会の安全は私たち若者の手で!

府立乙訓・八幡高校や京都橘大学の安全パトロールの様子がビデオやインタビューをまじえながら紹介されました。

参加者からは、今後の若者の活躍に期待を寄せる声が多く聞かれました。

実践発表

子どもの登下校の安全確保に向けた
宇治市・加茂町の取り組み

宇治市の「開いて学校を守る」「人が人を守る」を安全の原点とした全市あがりの取り組みや、全国的にも注目を集めている加茂町スクールセーフティーボランティア(KSSV)の取り組みが紹介されました。

安全ボランティアをはじめ様々なボランティア活動をそれぞれの地域でさらに推進し、地域社会の絆を強めていくことを目指して、京都府教育委員会では文部科学省ならびに宇治市教育委員会と共催で、平成18年12月23日(土・祝)に、宇治市文化センターにおいて、ボランティア活動推進フォーラム京都大会を開催しました。

ボランティア活動パネル展示

京都府内の安心・安全の確保に向けた取り組みの他、府立学校のボランティア活動や子どもの居場所づくり活動など地域社会に根ざした多様なボランティア活動を紹介します。



高校生がボランティアスタッフとして活躍!

当日は養護学校高等部の生徒を含む38名の高校生が、大会運営に協力してくれました。



パネルディスカッション

＜基調提案&コーディネーター＞

横矢 真理 特定非営利活動法人子どもの危険回避研究所所長

＜パネリスト＞

小部 正永 山城地方PTA連絡協議会会長
宇治市連合育友会会長

梶田 章一 加茂町スクールセーフティーボランティア会員

大木 満和 京丹後市(有)常吉村常百貨店代表取締役社長・京都府社会教育委員

勝間 喜一郎 京都府教育庁教育次長兼学校安全対策監

安全ボランティアの継続や、ボランティア活動を地域社会づくりに結びつけていくためには何が必要かについて、熱心な議論が行われました。

会場が満席となる約400名のご参加をいただき、ありがとうございました。今後とも、人々の心が通い合う地域社会づくりに向けたボランティア活動の取り組みを推進していきます。

教育情報の
何でもサイト



「京育ナビ」がスタート!!

※「京育ナビ」は府内教職員向けのサイトですが、ニュースや教材は下記のアドレスからどなたでも見ていただくことができます。 <http://kjpts.kyoto-be.ne.jp/>



デジタル教材を使って授業をわかりやすく進めたり、インターネットで教科研究を深めるなど、今日、学校では幅広い教育活動でITを活用しています。

京都府教育委員会では、教職員の積極的なIT活用を一層促進するため、10月から教育情

報の総合窓口となるホームページ「京都府教育情報ポータルサイト～京育ナビ」を開設しました。

「京育ナビ」では、授業で活用できるデジタル教材の紹介や府内外の教育関係ニュースの発信のほか、教職員が情報交流や研究協議ができる場を設けるなどの機能を用意して、学校教育充実の手助けをしていきます。

「京の子ども夢・未来体験活動」

将来の夢を 力強くはぐくもう

「こんな重いホースで火を消しているんだ」「収穫できるまでは毎日の世話が必要なんだね」「丁寧に髪をカットするのって難しい」……身近な職場での様々な体験をとおして、子どもたちの驚きと賞賛の声が挙がっています。



消防署での消火活動体験

「京の子ども夢・未来体験活動」は、子どもたちが仕事や奉仕活動を体験することにより、職業に関する正しい知識や興味関心を伸ばし、将来の夢や目標をより大きくはぐくもうとする取り組みです。

仕事や職場体験活動は、小学校4年生、中学校2年生を中心とし、平成18年度には小学校409校、中学校118校で実施され、子どもたちは熱心な指導も受けながら、仕事のおもしろさや大切さ、そして大変さを、はだで感じています。



人権について

思いを感じ取り、動き出したい

人権問題について、府内の学校では年間を通し、いろいろな学習を進めています。その中では、自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めることができるようになり、それがさまざまな場面での具体的な態度や行動につながることを目標としています。

それらの学習の一つとして、ポスターや標語の取り組みがあります。一枚のポスターから、そして一つの標語から伝わってくる思いを感じ取り、大切にしていけるといいですね。

＜わたしの＞＜あなたの＞
＜みんなの＞「人権」について、身近なところから尊重することの大切さを考える機会としていただきたいと思います。



平成18年度
人権擁護啓発ポスター
コンクール
京都府教育長賞
八幡市立男山中学校
2年 富永 晴菜さん

第5回 みんなで創る人権五・七・五標語コンクール
小学生の部・最優秀賞
「いじめを するやじらが ぼっかばか」
福知山市立細見小学校 1年 垣谷 柚衣さん

気軽にスポーツに親しむ「総合型地域スポーツクラブ」



創設準備が進む
網野スポーツクラブの活動風景

誰もが気軽にスポーツに親しむことができる環境づくりの一つとして、「総合型地域スポーツクラブ」の創設が府内の各地域で進んでいます。すでに17クラブがいろいろなスポーツを家族や地域の人々で楽しむといった活動していますが、本年3月末までに新たに8クラブが創設される予定です。

さらに、府立第Ⅲ類体育系設置高校(久御山、綾部、加悦谷の3高校)でも、それぞれの学校の特色を活かし、地域と連携した「総合型地域スポーツクラブ」の創設を進めています。公立高校を拠点とした総合型地域スポーツクラブの創設は、全国的にも先進的な取り組みとして注目されています。

また、1月20日には、府内の総合型地域スポーツクラブの関係者による交流会が開催され、ドイツのスポーツ社会学者であるフォルカー・リッター氏(ケルン体育大学教授)を招いて、地域におけるクラブの役割や運営方法について熱心に意見交換が行われました。



総合型地域スポーツクラブ交流会
(リッター氏の講演)

読書活動推進優良校表彰

京都府教育委員会では、各教育局で開催の「声に出して読もう! in 京都」などの機会に「みんなで読もう! 1000万冊読書キャンペーン」に積極的に参加し、継続し特色ある読書活動を推進している学校(園)を表彰しました。



| 区分 | 選考基準 | 乙訓教育局 | 山城教育局 | 南丹教育局 | 中丹教育局 | 丹後教育局 | 府立学校 |
|---------------|---------------------------------------|---------------|-------------|-------------|---------------|-------------|------------|
| 京都府知事賞 | 読書活動の推進に特に優れた創意工夫を凝らし、顕著な教育成果をあげている。 | 向日市立 向陽小学校 | 木津町立 梅美台小学校 | 亀岡市立 本梅小学校 | 舞鶴市立 明倫小学校 | 与謝野町立 桑飼小学校 | 府立 北嵯峨高等学校 |
| 京都府教育委員会 教育長賞 | 読書活動の推進に優れた創意工夫を凝らし、書物に親しむ学校風土を培っている。 | 長岡京市立 長法寺小学校 | 精華町立 精華南中学校 | 南丹市立 鶴ヶ岡小学校 | 綾部市立 綾部小学校 | 京丹后市立 田村小学校 | 府立 城南高等学校 |
| 京都新聞社賞 | 読書活動の推進に顕著な努力を行っている。 | 大山崎町立 大山崎小学校 | 宇治市立 大久保幼稚園 | 南丹市立 園部幼稚園 | 福知山市立 中六人部小学校 | 与謝野町立 岩滝幼稚園 | 府立 乙訓高等学校 |
| KBS京都賞 | 読書活動の推進に顕著な努力を行っている。 | 向日市立 第6向陽小学校 | 久御山町立 東角小学校 | 亀岡市立 安詳小学校 | 綾部市立 東綾小学校 | 伊根町立 伊根中学校 | 府立 久美浜高等学校 |
| NHK京都賞 | 読書活動の推進に顕著な努力を行っている。 | 長岡京市立 長岡第四中学校 | 京田辺市立 草内小学校 | 京丹波町立 質美小学校 | 舞鶴市立 岡田中学校 | 宮津市立 日置中学校 | 府立 豊学校 |

シリーズ 文化財

山城 郷土資料館

ふるさとミュージアム山城・丹後(府立山城・丹後郷土資料館)で取り組んでいる、子どもたちの体験活動をご紹介します。

両資料館では、このほか特別展や文化財講座など資料館の特色を生かした各種の事業を実施しておりますので、皆様ぜひ一度資料館においでください。

京都の伝統文化・見て・触れて・体験

魅力あふれる京都の伝統文化を見て、触れて、体験する機会を子どもたちに提供し、併せて地域の産業などを考える場として、「ふるさとミュージアムジュニアクラブ」を、広域振興局はじめ地元の方々の協力を得て開催しています。



遺跡の発掘(見て、触れて、体験)

10月の「恭仁宮探検隊」では、子どもたちが初めての発掘調査の体験や出土品の洗浄作業に目を輝かせていました。1月は、「からくりおもちゃ教室」を実施し、2月は「かみこま探検隊」、「茶がぶき教室」を実施します。

URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/yamasiro-m/>

丹後 郷土資料館

使って・作って・食べて実感

そば作りなどのジュニアクラブのほか、小学校4年生の社会科「昔の暮らしと道具」にそって、葉っぱ付きのダイコンを使った伝統食体験を旧永島家住宅(茅葺き民家、府指定文化財)で行っています。

ダイコご飯・ダイコと煮干し入り味噌汁・ダイコの皮と葉っぱを塩もみした即席漬けなど、カマドやイロリの煙で悪戦苦闘しながら子どもたちが協力して作ります。

日頃、味わうことのできない質素な食事ですが、子どもたちは一粒残らず平らげます。カマドに挑戦(使って、作って、食べて実感)食べる事を通して昔の暮らしの一端を実感する試みの一つです。



URL <http://www.kyoto-be.ne.jp/tango-m/>